

# 救急看護学

選 択 開講年次：3 年次後期 科目区分：講 義 単 位：1 単位 講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：救急医療と看護の特徴を理解し、救急患者と家族に適切な看護を提供するために、救急病態を理解し、必要な処置・治療に関する知識を習得する。

- 到達目標**：①救急医療・救急看護の特徴と役割、現状について理解する。  
②救急患者にみる多彩な病態と治療および看護について理解する。  
③生命危機状況にある患者・家族の心理状態と心のケアの必要性を理解する。  
④脳死と臓器提供について理解し、救急看護師の役割を考察する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎菅原 美樹・三上 剛人

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 救急看護学概論  
わが国の救急医療制度、札幌市の救急医療体制、救急患者の特徴、救急看護の特徴と役割
- 第 2 回 プレホスピタルケアと実際  
プレホスピタルケアとは、プレホスピタルケアの実際、札幌市のプレホスピタルケアの現状、救急看護師との協働
- 第 3 回 救急看護に必要な基本的看護技術  
二次救命処置（ACLS）、包帯法
- 第 4 回 救急病態と看護ケア①  
急性呼吸不全、熱傷の病態理解と治療および看護ケア
- 第 5 回 救急病態と看護ケア②  
外傷、中毒の病態理解と治療および看護ケア
- 第 6 回 救急患者の家族の心のケア  
救急患者・家族の心理的特徴、救急患者と家族のニーズの把握と心のケア
- 第 7 回 脳死下における臓器提供の現状と倫理的課題  
日本における脳死と臓器移植の現状、脳死と臓器提供における救急看護師の役割
- 第 8 回 まとめ 課題学習

■**教科書**：教科書は使用せず、毎回資料を配布します。

■**参考文献**：『救急看護学』／山勢博彰・山勢善江・菅原美樹編（医学書院）  
『看護のための最新医学講座第25巻救急[第2版]』／日野原重明他監修（中山書店）  
『救急ケア』／中村恵子監修（学習研究社）  
『ACLSプロバイダマニュアル』／American Heart Association（中山書店）

■**成績評価基準と方法**：定期試験80%、課題20%

| 評価方法 | 到達目標  |       |       |       | 評価基準          | 評価割合 (%) |
|------|-------|-------|-------|-------|---------------|----------|
|      | 到達目標① | 到達目標② | 到達目標③ | 到達目標④ |               |          |
| 定期試験 | ◎     | ◎     | ◎     | ○     | 60%以上正解していること | 80       |
| 課題   |       |       |       | ◎     | 課題の提出と内容の適切性  | 20       |
| 出席   |       |       |       |       | 2/3以上の出席      | 欠格条件     |

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：重症集中ケア

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：人間の命を救うという意味において、救急看護は看護の原点です。救急医療の第一線で活躍している講師陣の講義から、わが国の救急医療と看護について学びを深めましょう。